

市川市男女共同参画基本計画第7次実施計画(案)についての  
パブリックコメント実施結果

市川市 総務部

男女共同参画・多様性社会推進課

- 期間 令和元年12月21日から令和2年1月19日
- 意見を提出していただいた方の人数及び件数
- |                     |       |
|---------------------|-------|
| ・男女共同参画・多様性社会推進課へ提出 | 2人 5件 |
| ・ファクシミリ             | 1人 1件 |
| ・インターネット            | 該当なし  |
|                     | 1人 4件 |
- 意見への対応
- |                               |    |
|-------------------------------|----|
| ①ご意見を踏まえて、案の修正を検討するもの         | 0件 |
| ②今後の事業実施の参考とするもの              | 1件 |
| ③ご意見の趣旨や内容について、考え方を盛り込み済であるもの | 2件 |
| ④その他（本計画そのものに対するご意見でないもの等）    | 2件 |

No.	ご意見概要	市の考え方	対応分類
1	政府は男性国家公務員の育児休業について、原則として1か月以上の取得を促す方針である。市川市の男性職員の育児休業の取得に関し、目標値を設定してはどうか。	市職員の育児休業等の取得に関する目標設定は他課所管の計画（※）において設定しています。第7次実施計画では、進行管理事業の19「市職員へのワーク・ライフ・バランス推進に関する情報発信」等で市職員の育児休業、介護休暇等の取得促進のための土壌づくりに寄与したいと考えます。	④
2	成果指標と進捗管理事業の中で、目標値を矢印表記としているものがある。数値にすべきではないか。	現状値を取れていない新規の目標値について矢印の表記を行っています。第7次実施計画期間において現状を把握し、第8次実施計画では、具体的な数値設定をしたいと思えます。	②
3	進捗管理事業のうち、現状より低い目標値を設定しているものがある。少なくとも現状と同じ数値を設定すべきではないか。	ご指摘の現状値はいずれも、第6次実施計画において、当初の予定になかった事業が加算された結果、目標値を上回る実績となった事業です。第7次実施計画においても確実にこなすべき取り組みを目標とし、目標値以上に事業展開を行える機会を検討します。	③
4	進捗管理事業の目標値に「〇〇以上」という表記がある。「以上」という表現は消極的な印象を受けるため適切でないと考える。また、重点事業に関しては、現状以上の目標値を設定すべきである。	目標値の「以上」という表現は、当該事業に対し積極的に取り組むとの趣旨で設定をしています。事業展開にあたっては市民の皆様に消極的な印象を与えないよう、取り組んでまいります。	③
5	基本計画における施策「(65)性の商品化の根絶」についての施策が、漫画等の創作物を規制することのないよう留意してほしい。	人権侵害と性犯罪に結びつく可能性がある性の商品化を根絶することが重要であると考え、まずは、啓発活動を積極的に推進してまいります。	④

(※) 市川市役所次世代育成支援行動計画及び特定事業主行動計画